

議論の進め方について（案）

1. 論点と事業類型との関係

- 既往事例の大宗を占める「従来型事業（サービス購入型）」とその他の「新たな事業類型（収益施設併設型・運営権活用型）」との差異に留意して論点を整理。
- 第3回WGでは、前回に続き従来型事業（サービス購入型）に関する論点について議論を実施。
- 第4回WG以降では、新たな事業類型（収益施設併設型・運営権活用型）に関する論点について議論を実施。

表 論点と事業類型との関係

		VFMに関するもの	リスク分担に関するもの
新たな事業類型	従来型事業 (サービス購入型)	支払額削減以外の VFMについて VFMが果たすべき 役割について	リスクを明確に認識する ためのリスクワーク ショップ等の手段について
	収益施設 併設型 運営権活用型	新たな事業類型における VFM評価のあり方について (現時点で既往事例が存在しないため、空港等の先行 検討事例事業の動向を見据えつつ、今後検討を実施)	本体事業と付帯事業との 間のリスク遮断について

適宜
反映
第3回WGまでの論点

第4回WG以降での論点（案）

[今後のWGの進め方]

- ・ 前回までのWGにおいてご提示いただいた意見を踏まえ、新たな事業類型についての議論に先立ち従来型事業（サービス購入型）について議論しておくべき事項についても改めて整理する。
- ・ その際、議論の対象として新規性が高い事業や民間事業者の運営比重が大きい事業等を主に想定することとし、議論を進める。
- ・ なお、同種の実績が比較的多く存在する定型的な事業等は手続き簡易化WGにおいて議論の対象とされたところ。

2. 従来型事業（サービス購入型）に関する論点

(1) 支払額削減以外のVFMについて

[第2回WGでの主な意見]

- ・ 「サービスの価値の向上」の評価方法を議論するにあたり、PFI以外の事業における「価値の向上」の扱いについても参考として紹介を行ってはどうか。

(2) VFMが果たすべき役割について

[第2回WGでの主な意見]

- ・ 「サービスの価値の向上」の一部を定量化したVFMについて、事業規模等に応じて、精緻化する必要があるのではないか。

(3) リスクを明確に認識するためのリスクワークショップ等の手段について

[第2回WGでの主な意見]

- ・ 工事期間中の物価上昇リスク及び運営期間中の需要変動リスクについて、その考え方を整理する必要があるのではないか。
- ・ リスクワークショップを有意義なものとするための構成メンバーについて整理してみてもどうか。

3. 新たな事業類型(収益施設併設型・運営権活用型)に関する論点

(1) 新たな事業類型におけるVFM評価のあり方について

[第1回WG・第33回委員会での主な意見]

- ・PPPや公的不動産の有効活用におけるVFM計測やPSC設定の考え方について議論してみてもどうか。
- ・財政支出削減効果以外にも社会的便益・外部効果があるのではないかと。また、それらが利害関係者間にどのように分配されるのかという論点もあるのではないかと。

(2) 本体事業と付帯事業との間のリスク遮断について

[第1回WG・第33回委員会での主な意見]

- ・収益施設併設型事業の場合、本体事業との間でリスクをどこまで遮断するのかについて議論してはどうか。

(3) 運営権活用型事業における事業中途解除リスクについて

[第1回WG・第33回委員会での主な意見]

- ・運営権活用型事業において、事業が途中で解除された場合の運営権対価の扱いについて議論してはどうか。

4. その他

○必要に応じて、ケーススタディ等を実施。

[第1回WG・第33回委員会での主な意見]

- ・空港等の先行検討事業の動向にも留意してはどうか。
- ・今後PFIをより浸透させるためには、小規模な地方公共団体の意見を把握してみてもどうか。
- ・ケーススタディ等を通じて、実務上存在するリスク分担の課題を把握してはどうか。